



伊藤 一夫 さん  
(片倉町)



林 明子 さん  
(登別本町)



河村 信義 さん  
(鷺別町)

「まずは市民が温泉の良さを」

残念なことに、市民が登別温泉の良さを宣伝できるほど、日常的に温泉に親しんではいないという現状があります。市民一人ひとりが登別の良さを知ると、どこへ出かけて行っても、その良さを誇ることがができる。5万3千市民が登別を宣伝できるとしたら、すばらしいことですね。

「自然との共生を」

登別は知里貞志保、幸恵が愛したモシリです。アイヌの人々は自然界の全てのものに心があるという精神に基づいて自然を「カムイ」と呼びます。私たちが自然に畏敬の念を失い、豊かな生活と引き換えに環境を破壊してきました。洞爺で環境サミットが行われた今、アイヌ文化に学び、広がっていくことが登別の観光につながって行くのではないのでしょうか。



松宮登美子 さん  
(中登別町)

「豊かな自然資源の活用」

今回のテーマ「登別の観光」が鷺別地区発展に、どの様な形で結びつくのか疑問ですが、皆さんがどの様な意見をもっているのかを聞くのが楽しみで、3会場に参加しました。

自然は大切な宝物であり、鷺別地区では「豊かな川や山、海岸での自然体験」などができます。

鷺別漁港と登別漁港を結び、観光客に「釣り」を楽しんでもらう企画などはどうでしょうか。

「湧き水は宝！」

初めて参加しました。今回のテーマは観光ということだったので、身近に感じました。いろいろな方が、様々な視点で意見を言っていたので参考になりました。

登別の宝物は、わき水だと思っています。とても美味しいので、自由にくめる施設がほしいですね。

また、健康な身体をつくる為に、温泉を利用した、長期滞在型の施設があると良いと思います。

第3回臨時会

乳幼児等・重度心身障害者  
医療給付事業の拡大

10月1日から、乳幼児医療給付の対象範囲が小学校就学中の児童へ拡大。重度医療給付事業の対象が、精神障害者保健福祉手帳交付者で1級該当の方へ拡大されました。

給付内容は、年齢、障がい種別、世帯状況により変わります。

その他の主な議決内容は…

①地域で安心して生活できる支援事業を、指定相談事業所に委託して行います。事業内容は、福祉サービスに関する説明会の開催、障がいのある方への支援、引きこもりの方への居宅訪問、支援ネットワークの構築など。予算は100万円で、北海道より全額補助されます。

②平成17年に調査したクリソタイル等のアスベストに加え、トレモライト等のアスベストについても調査が必要となったことから、公共施設4カ所(幌別東団地79R、市民会館ボイラー室、登別中学校、文化交流館)を再調査します。